

Rainbow

11月12日～25日の女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせて行われた取り組みを紹介します。

市役所本庁舎をパープル・ライトアップ

運動期間中、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで、全国各地でタワーやランドマークを紫色にライトアップする「パープル・ライトアップ」をはじめ、様々な取り組みが行われました。

大牟田市では、今年初めて、市内で活動している女性団体「翼の会おおむた」の主催で、「暴力のない社会をめざそう」というメッセージを含め、市役所本庁舎をライトアップしました。



パープルリボンツリー

市役所玄関ロビーと中央地区公民館1階ロビーにパープルリボンツリーを設置しました。

パープルリボンには「あなたは一人ではないよ」というメッセージが込められています。

女性に対する暴力防止の願いを含めて、多くの市民の皆さんにリボンをかけていただきました。

女性に対する暴力根絶のシンボル
「パープルリボン」



いないのではなく、気づいていないだけ ～LGBTについて理解を深めるために～

11月13日(土)
会場 えるる

OVER THE RAINBOW 代表の荒牧明楽さんを講師に迎え、LGBTについての講演会を開催しました。

講演会のなかでは、性の多様性やLGBT当事者が抱える問題、LGBTの人のためにできることなどを学習しました。参加者がグループに分かれて意見を出し合う時間もあり、率直な意見が多く聞かれました。

LGBTの人は、周囲の理解不足や偏見等により、社会の中で様々な不安や困難を抱えていると言われています。お互いに違いを認め合い、思いやりを持って協力し合うことが大切だと改めて感じました。



講師 あら まき あきら 荒牧 明楽 さん



講演会の様子

～参加者の感想より～

当事者にとって、トイレのハードルがあることに気づいていませんでした。もしかしたら、何気ない言葉や態度で誰かを傷つけていたかもしれないなと思いました。

誰もが自分のことを言える社会に近づけていきたいと思います。そのために自分も変わる必要があると感じました。

実際に当事者の心の移りかたを聞いたのは良かったです。今後身近にそのような方がいたら、寄り添えるように努力したいです。



アウティング

本人の同意なく第三者にその人の性のあり方を暴露することです。

その人の居場所を奪ってしまったり、プライバシーの侵害につながります。

最悪の場合、自殺を考える人も出てきます。「善意」でおこなったかどうかは関係ありません。アウティングは絶対にやめましょう。

参加者の皆さんは、
それぞれ新しい気づきがあったよう
ですね。まずは偏見や
思い込みに気づくこと
が、誰もが暮らし
やすい社会のため
の第一歩です。



令和3年度福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」

「女性による元気な地域づくり応援講座事業（通称：元気塾）」は、女性の視点・意見を活かした地域活動を促進し、地域の女性の活躍促進につなげるため、平成28年度から、福岡県男女共同参画センター「あすばる」が実施している事業です。地域の女性団体と男女共同参画センター、市町村が主体となり、それぞれの地域が抱える課題を解決するため、「現状を分析し課題を抽出する力」、「調整力」、「情報発信力」など、地域活動の実践力を高める連続講座を企画・実施しています。

今年度、大牟田市から「おおむたミライ会議実行委員会」が選ばれ、オンラインでの4回の講座を開催しました。

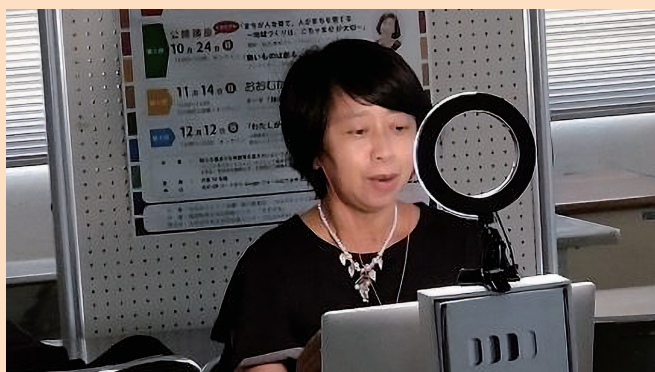
● おおむた♡ミライ会議 ●

第1回 9月26日（日）オンライン
初めてのZoom講座、活用の紹介
講 師：CORALさん

小郡市の市民コミュニティ活動団体CORALさんを講師に迎え、初心者向けにZoomの使い方をわかりやすく教えていただきました。

塾生を6グループに分け、グループ内で自己紹介などを行い、オンラインで塾生同士の交流が深まりました。

実行委員の皆さんは、事前に何回もリハーサルを重ねて本番に臨み、初めてとは思えないほど、スムーズに講座を進行されていました。



実行委員共同代表よりご挨拶

第2回 10月24日（日）公開講座 オンライン
「まちが人を育て、人がまちを育てる
～地域づくりはごちゃまぜが大切～」

講 師：松田美幸さん
(つながりコーディネーター)

「無いものは創る、私たちのミライ」

プレゼンター：中村路子さん
(まちびと会社ビジョナリアル共同代表)

塾生だけでなく、一般の方も参加できる公開講座として開催されました。

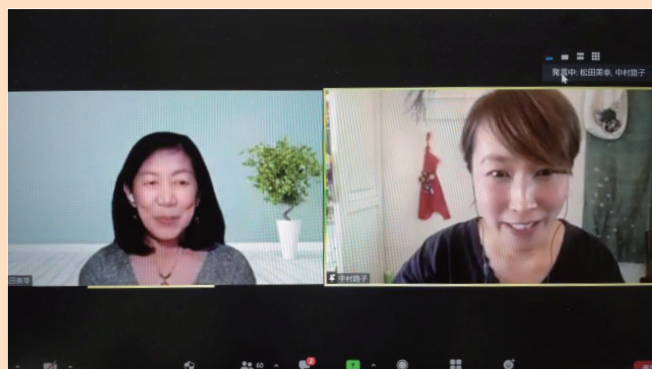
松田さん、中村さんの地域づくりについての講演の後、塾生、一般参加の方が10グループに分かれて、講演内容の感想や、大牟田の未来について意見を出し合いました。

「いろいろな方がそれぞれチャレンジしているが、それを繋げるシステムがない」、「新しいことにチャレンジする受け皿に乏しい」などの意見が出され、具体的な事業について話される方もいました。

参加者の皆さんが、自分ごととして捉えられるきっかけになったようでした。



配信作業に真剣な実行委員



松田さん（カナダより）

中村さん（久留米より）



配信を裏で支える実行委員



登壇者の皆さん、カメラに向かってポーズ！



開始前に塾生の緊張を解く実行委員

第3回 11月14日（日）三川地区公民館+オンライン

おおむた♥ミライ会議（登壇者による円卓会議）

「休み（育休）をデザインする」

ファシリテーター：原口唯 さん

コメンテーター：松田美幸さん・藤高昌子さん

リアル会場とオンライン配信のハイブリット形式で開催されました。

最初にコメンテーターの二人から、男性の育児休業（育休）の考え方や法改正について説明があり、その後20代から40代の6人の登壇者が、それぞれの立場から意見を交わしました。男性の育児取得はまだまだとりにくい雰囲気があるといった意見や、子育てには地域との関わりあいがないという意見が多く、どのようにして違う立場の人と関わっていったらよいのかという課題も見えてきました。オンライン参加の塾生や、会場に来られた方からも質問や意見が出され、活発なやりとりが繰り広げられました。



会場の活発なやりとりがオンラインで配信されました



有明高専建築コース
5年 沖 哲治 さん

実行委員会に参加して

これからは自分から主体的に動き、いろいろな方がやりたいことができるよう、大牟田で暮らすメリットをつくって、まちの魅力をアピールしていきたいと思います。

大牟田市女性人材リストへの登録をお待ちしています

大牟田市では、男女共同参画社会の実現に向けて、政策・方針決定の場への女性の参画を進めるため、市の各審議会の委員等を選出するときに「大牟田市女性人材リスト」を活用しています。

あなたの「経験」「知識」「やる気」を市政や地域の発展に活かしてみませんか？

◇登録できる人は？

市内に在住もしくは勤務し、または市内を活動の拠点とする20歳以上の女性で、各分野で活躍している人や市政に関心がある人です。



詳しくはこちら

男女共同参画に関する苦情の申し出ができます

男女共同参画に関する施策や人権侵害について、大牟田市男女共同参画推進条例に基づき、苦情や救済の申し出ができます。

◇申し出ることができる内容

- ①市が行っている施策の中で、男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められるもの
- ②性別による差別的取り扱いやセクシュアルハラスメントなどの人権侵害



詳しくはこちら

問合せ

大牟田市人権・同和・男女共同参画課

〒836-0862 大牟田市原山町 13-3 中央地区公民館 1 階

TEL: 0944-41-2611

FAX: 0944-41-2869

知っていますか？ アンコンシャス・バイアス

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機に、多様性を認め合うことの大切さが再認識され、「アンコンシャス・バイアス」という言葉が注目されています。

アンコンシャス・バイアスとは 無意識の思い込みのことです。

自分の育った環境や社会生活の中で、自分でも気がつかないうちに持つようになった物事の見方や考え方の偏りのことを指します。

例えばこんなことはありませんか？

これらは日常にあるアンコンシャス・バイアスの一例です。

- 性別、世代、学歴などで相手を見ることがある
- 「親が単身赴任です」と聞くと、まずは「父親」を思い浮かべてしまう
- 男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と、とっさに思う
- 女性に理系の進路（進学・就職）は向いていないと思う

無意識に
考えているかも

アンコンシャス・バイアスの何が問題なのか？

アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあるものです。ただ、あることそのものが悪いわけではありません。

問題なのは、決めつけたり、押しつけたりすることです。気づかずにいると、相手を傷つけたり、自分や他人の可能性をせばめてしまうかもしれません。

決めつけない、押しつけない

価値観の決めつけ言葉	“普通” そうだ “たいてい” こうだ など
能力の決めつけ言葉	どうせ無理・どうせダメ できるわけない など
解釈の押しつけ言葉 (違う解釈を受け入れない)	そんなはずはない こうに決まってる など
理想の押しつけ言葉 (自分の理想を相手に求める)	こうある“べき” だ こうでないダメだ など

心掛ける ポイント

- 1 自分の当たり前を疑ってみる
- 2 自分の当たり前を決めつけない、押しつけない
- 3 相手の表情や態度に違和感を感じたら、すぐ立ち止まって考えてみる

自分自身の思い込みに気づくことが大切です

日頃から、「あれ？これってアンコンシャス・バイアスかも？」とアンテナを立て、自分の中に潜む「思い込み」に気づき、意識し、行動を変えることが、多様性を認め合うために大切なことです。

新型コロナウイルス感染拡大の長期化によりDVの深刻化が懸念されています

新型コロナウイルスの感染拡大により、生活不安やストレスから配偶者等からの暴力（DV）の増加や深刻化が懸念されています。

DVなどの暴力は、重大な人権侵害であり、いかなる状況でも決して許されるものではありません。

配偶者や交際相手との間で、「これってDVかな?」「今すぐ逃げたいけどどうしたらいいの?」「自分だけでなく子どもたちのことも心配」など不安を感じたら、一人で悩まず、下記の相談機関に電話してください。相談員と一緒に考えます。

また緊急の場合は、ためらわずに110番通報をしてください。

身体への暴力だけがDVではありません
こんな行為もDVです

- 無視する。ののしる。
- 生活費を渡さない。
- 子どもに悪口を吹き込む。
- スマホや携帯電話をチェックされる、他の人のメールやアドレスを消される。
- 無理矢理キスや性行為を求められる。

心当たりはありませんか？

自分のこと、相手のこと、見つめ直してみよう。

相談窓口

大牟田市男女共同参画センター
女性相談電話

☎ 0944-43-1012

月～金曜日 8:30～17:15
※祝日・年末年始を除く

大牟田警察署
(生活安全課)

☎ 0944-43-0110

24時間受付

福岡県あすばる相談
ホットライン

☎ 092-584-1266

月～日曜日 9:00～17:00
金曜日(祝日除く)のみ18:00～20:30も可
※8月13日～15日・年末年始を除く

福岡県配偶者からの
暴力相談電話

☎ 092-663-8724

月～金曜日17:00～24:00
土・日・祝 9:00～24:00
※年末年始を除く

男性DV被害者のための
相談ホットライン

☎ 092-571-1462

水・木曜日17:00～20:00
金曜日12:00～16:00
※祝日・年末年始を除く

LGBTの方のDV被害者
相談ホットライン

☎ 080-2701-5461

第2火曜日 12:00～16:00
第4火曜日 17:00～20:00
※祝日・年末年始を除く

福岡県犯罪被害者
総合サポートセンター(筑後地域)

☎ 0942-39-4416

月～金曜日 9:00～16:00
※祝日・年末年始を除く



大牟田市では、「第3次おおむた男女共同参画プラン」(平成30年3月策定)のもと、「男女が生き生きと暮らすまちの実現」を目指して、この中で掲げた様々な取り組みを実施しています。

【発行】

大牟田市男女共同参画センター
〒836-0862 大牟田市原山町13-3
(中央地区公民館内)
TEL 0944-41-2611
FAX 0944-41-2869